

事務事業名 アジア太平洋子ども会議招聘事業

出力日：令和07年03月18日

キーコード：1261

施策：	20	生涯学習・社会教育の推進	財務コード	01090603-27-558
基本事業：	03	異文化理解の推進	担当部	教育部
基本事業の成果指標	国際交流が推進されていると思う市民の割合		担当課	生涯学習課
			担当係	生涯学習・青少年担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	平成01年度 ~		新規・継続	継続	会計区分		実施計画			
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）							
ホストファミリー・学校（児童）			「アジア太平洋子ども会議・イン福岡（APCC）」招聘事業に参加 7月にアジア・太平洋の国・地域から、子ども大使団（11歳の子どもと大人の引率者）を受け入れている。 ホストファミリー宅で生活しながら、生活や学校登校、地域行事に参加しながら日本の文化に触れる。日本と海外の子どもたちがお互いを認め合い、友情を深める。							
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）			業務内容 APCC主催会議等参加：パートナー窓口会議、ホストファミリー研修会、ホストファミリーのつどい ホストファミリー関係：ホストファミリー募集、国別ミーティング、学校との連絡調整 歓迎式典対応：対面式、交流会							
この事業に係わった人が、肌の違い、ことばの違い、文化の違い等の体験を通して、互いの違いを認め、互いを尊重し理解し合える人権感覚を身につけた市民となる。										
4. 成果（簡易評価は未記入）										
成果指標名称		単位	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度	目標	
			実績	実績	当初	要求	計画	計画		
ホストファミリー数（世帯数）		世帯数	0	8	5	5			5	
5. コスト										
事業費		計	千円	0	55	78	78			
		国	千円	0	0	0	0			
		県	千円	0	0	0	0			
		地方債	千円	0	0	0	0			
		その他	千円	0	0	0	0			
一般		千円	0	55	78	78				
正職員人工数		人工	0.1	0.1	0.1					
正職員人件費		千円	773	782	802					
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円	773	837	880	78				
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）										
あがっている どちらかといえばあがっている あがっていない（停滞・低下）		新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度は中止、令和3年度と4年度はインターネットを利用した交流となった。 令和5年度は再開し、コロナ禍前の通常のホームステイプログラムを行った。								
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）										
対象動向	維持	類似事業	なし	子どもが関わる国際交流であり、言語や文化の違いを乗り越え、お互いを認め合い、「思いやり」の気持ちを育む貴重な機会となるため、今後も継続していくことが大切である。						
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし							
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし							
上位貢献度	影響度は大	業務推進課題	なし							
成果向上余地	小さい									
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）						改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）										
子ども大使の受け入れがよりスムーズになるよう、引き続き募集方法や運営を検討する。				従前は輪番制で受け入れる小学校区を限定していたが、令和5年度からは小学校区を限定せず、市全体でホストファミリーを募集する方式に改めた。						
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）						備考・特記事項 or 進行管理欄				
1989年「アジア太平洋博覧会 - よかトピア」の記念事業としてスタート。 2019年より、事業名称が「BRIDGE KIDS PROGRAMS『BRIDGE Summer Camp』」と改められた。										